ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

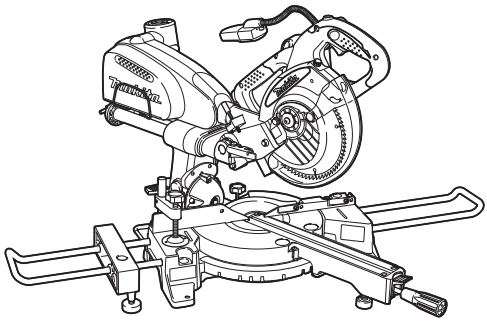
makita

取扱説明書

216mm スライドマルノコ

回 モデル LS0814F
（ライト・ブレーキ付）

回 モデル LS0814FL
（レーザー・ライト・ブレーキ付）



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは216mmスライドマルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ---- 3
・安全上のご注意 ---- 4
・スライドマルノコ安全上のご注意 ---- 10
・各部の名称および標準付属品 ---- 12
・別販売品のご紹介 ---- 13
・使い方 ---- 15
　・ボックスレンチの収納 ---- 15
　・本製品の設置 ---- 15
　・ノコ刃の取り付け・取りはずし方 ---- 16
　・ダストボックス ---- 19
　・ホルダ金具、ホルダアッセンブリの取り付け ---- 20
　・刃口板の調整 ---- 21
　・ノコ刃の下限位置決め調整 ---- 22
　・ストッパアームの使い方 ---- 23
　・ミニサブフェンスの使い方 ---- 23
　・サブフェンスの使い方 ---- 24
　・角度切断の切断角度設定 ---- 24
　・傾斜切断の切断角度設定 ---- 25
　・傾斜角度微調整範囲の設定 ---- 26
　・左傾斜角度の微調整 ---- 27
　・右傾斜角度の微調整 ---- 29
　・材料の固定 ---- 31
　・1. バイスアッセンブリ（たて）の使い方 ---- 31
　・2. バイスアッセンブリ（よこ）（別販売品）の使い方 ---- 32
　・スイッチの操作 ---- 33
　・ライトの使い方 ---- 33
　・通電表示ランプ ---- 35
　・レーザーの使い方（LS0814FL のみ） ---- 36
　・レーザーラインの合わせ方（LS0814FL のみ） ---- 37
　・切断方法 ---- 38
　・溝を入れる加工 ---- 45
　・本製品の持ち運び ---- 46
・保守・点検について ---- 47
　・レーザーラインの位置調整（LS0814FL のみ） ---- 47
　・切断角度の調整 ---- 49
　・安全カバーの動作点検と整備 ---- 51
　・蛍光管の交換 ---- 52
　・レーザー発光部の清掃（LS0814FL のみ） ---- 53
　・レーザー発光部のレンズの取りはずし方（LS0814FL のみ） ---- 53
　・カーボンブラシの交換 ---- 54
　・本製品のお手入れ ---- 54
　・ご修理の際は ---- 54

主要機能

<table>
<tr><td>モデル
主要機能</td><td colspan="3">LS0814F</td><td colspan="2">LS0814FL</td></tr>
<tr><td>電動機</td><td colspan="5">直巻整流子電動機</td></tr>
<tr><td>電圧</td><td colspan="5">単相交流 100 V</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="5">12 A</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="5">50-60 Hz</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="5">1,140 W</td></tr>
<tr><td>回転数</td><td colspan="5">4,500 min^{-1}（回転 / 分）</td></tr>
<tr><td>刃物寸法</td><td colspan="5">外径 210 mm ～ 216 mm
内径 25.4 mm 又は 25 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="5">切断能力
（高さ×幅：mm）</td><td colspan="2">ノコ刃傾斜角度
ターンベース角度</td><td>左 45 ˚</td><td>0 ˚</td><td>右 45 ˚</td></tr>
<tr><td colspan="2">0 ˚</td><td>※ 50 × 262
（25 mm）
47 × 312</td><td>※ 75 × 262
（25 mm）
65 × 312</td><td>※ 30 × 262
（25 mm）
20 × 312</td></tr>
<tr><td colspan="2">左右 45 ˚</td><td>※ 50 × 180
（20 mm）
47 × 220</td><td>※ 75 × 180
（20 mm）
65 × 220</td><td>※ 30 × 180
（20 mm）
20 × 220</td></tr>
<tr><td colspan="2">右 57 ˚</td><td>－</td><td>※ 75 × 142
（15 mm）
65 × 169</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="5">注）
・ ※印は、当て木を使用した場合の切断能力を示します。
・ カッコ内の数値は、使用する当て木の厚さを示します。
・ 数値は、外径 216 mm のノコ刃を使用したときの値を示します。</td></tr>
<tr><td>ターンベース
回転角度範囲</td><td colspan="5">左 47 ˚ ～ 0 ˚ ～右 57 ˚</td></tr>
<tr><td>ノコ刃
傾斜角度範囲</td><td colspan="5">左右 0 ˚ ～ 45 ˚</td></tr>
<tr><td>本製品寸法</td><td colspan="5">奥行き 677 mm ×幅 430 mm ×高さ 520 mm</td></tr>
<tr><td>レーザー出力</td><td colspan="3">－</td><td colspan="2">1 mW 以下（クラス 2）</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="3">13.9 kg</td><td colspan="2">14.2 kg</td></tr>
</table>

安全上のご注意

JPA001-36

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
- 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
- ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。

10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

スライドマルノコ安全上のご注意

JPB138-6

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、スライドマルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。
・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、バイスで確実に固定して作業してください。
・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
5. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
・ このような台がないとけがの原因になります。
6. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
7. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本製品を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本製品を持ち上げるようにしてください。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 傾斜のない平たんな場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本製品の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断砥石を取り付けて使用しないでください。
12. レーザー光を直接のぞきこまないでください。
・ レーザー光が目に直接当たると、目を傷める原因になります。

注

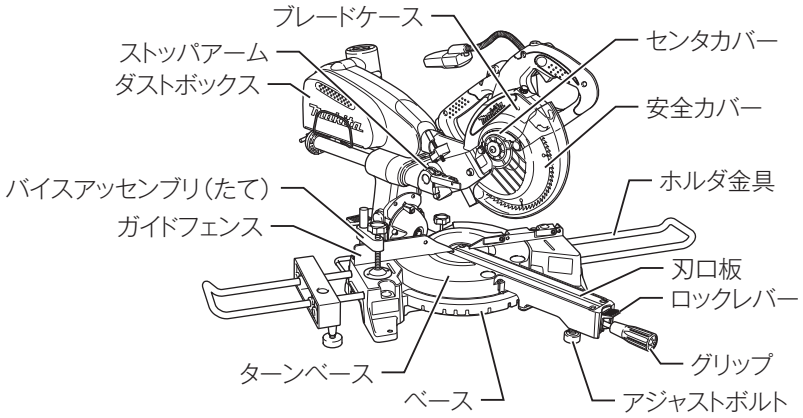
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

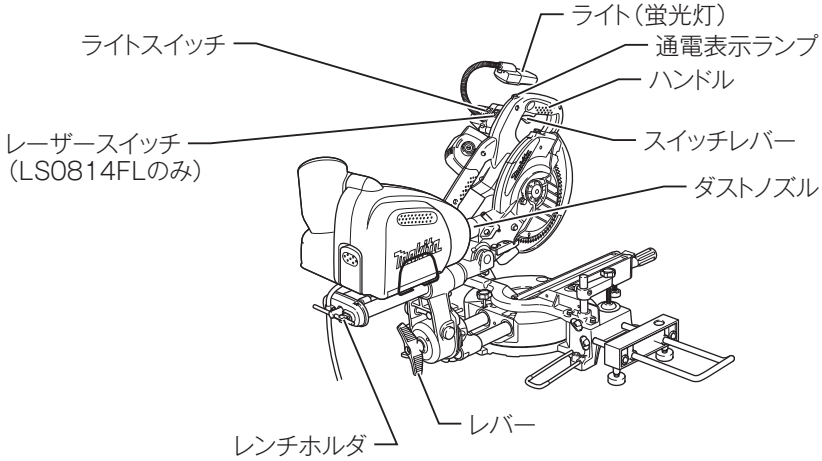
使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品





標準付属品

- ダストボックス
- ホルダ金具（2 個）
- ボックスレンチ 10
- 三角定規
- バイスアッセンブリ（たて）
- ホルダアッセンブリ
- ノコ刃（本製品取付）
- 六角棒レンチ 2.5（LS0814FL のみ）

別販売品のご紹介

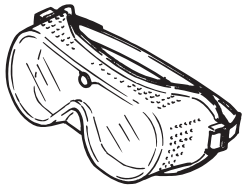
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ ノコ刃

種類	外径	刃数	部品番号
ダブルスリット	216	80	A-45995
タフブラック	216	80	A-42949
一般木工用	216	40	A-31055
		80	A-37633
アルミサッシ用	216	60	A-30710
		80	A-37627

別販売品のご紹介

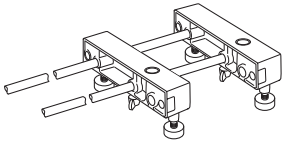
・ セフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2



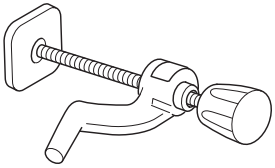
・ ホルダ金具組立品
（ホルダアッセンブリ、ロッド 12 は各々 2 個必要です。）

ホルダアッセンブリ
部品番号：192713-8

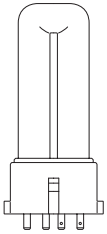
ロッド 12
部品番号：256812-1
長尺材、幅広材の切断に便利です。



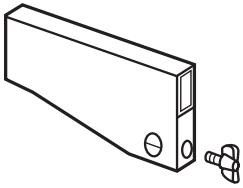
・ バイスアッセンブリ（よこ）
部品番号：122567-9



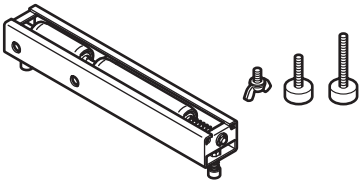
・ 蛍光管
部品番号：A-33825



・ セットプレート（ツマミネジ付）
部品番号：122472-0
材料の定寸切断に便利です。



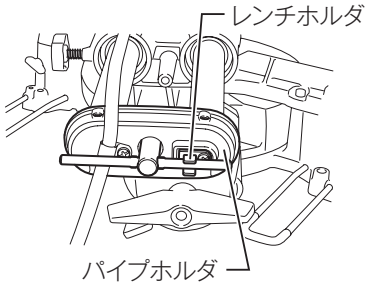
・ フロア用補助ローラー
部品番号：A-46012
長尺材、幅広材の切断に便利です。



・ クイックミニ補助ローラー
部品番号：A-47450

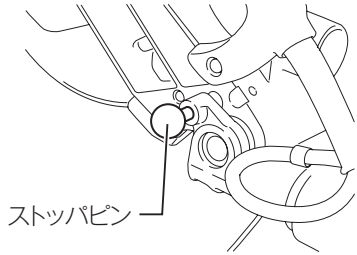
ボックスレンチの収納

・ ボックスレンチはパイプホルダのレンチホルダに収納してください。

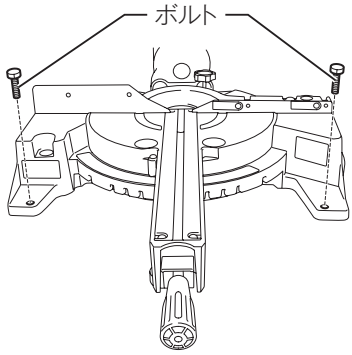


本製品の設置

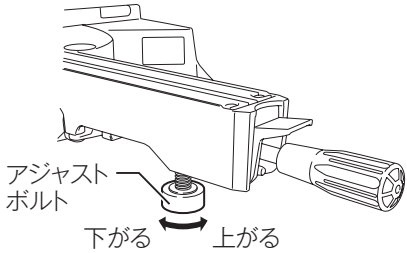
・ 出荷時には本製品が下限位置に固定してあります。ハンドル部を少し押さえ、ストッパピンを引いて固定を解除してください。



・ 傾斜のない平坦な場所にベースの穴を利用して２本のボルトで本製品を固定してください。



・ 本製品を安定させるため、アジャストボルトを左右にまわして床に接触するように調整してください。



ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

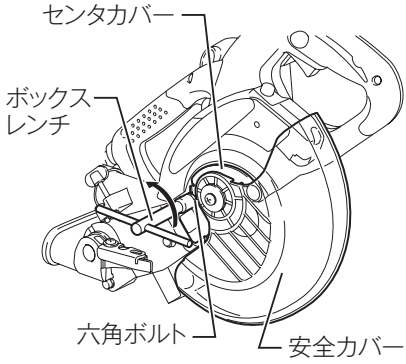
・ 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を傷めたり、けがの原因となります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

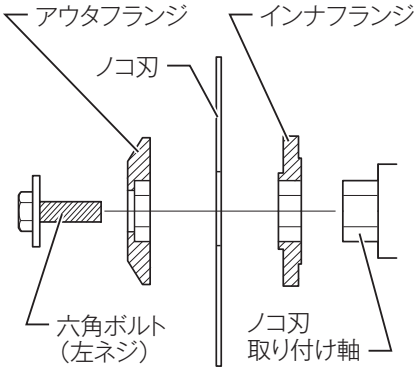
・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因となります。

取り付け方

・ 本製品が上がった位置で、ストッパピン（15 ページ参照）を押し込み、本製品が下がらないように固定してください。
・ センタカバーを固定している六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、安全カバーを持ち上げ、センタカバーを開いてください。



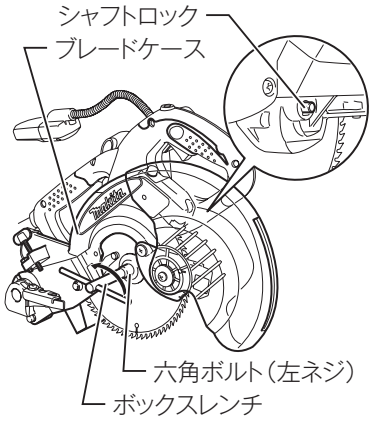
・ 六角ボルトとアウタフランジをはずしてください。
・ ブレードケースの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃取り付け軸にインナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角ボルト（左ネジ）の順に取り付けてください。



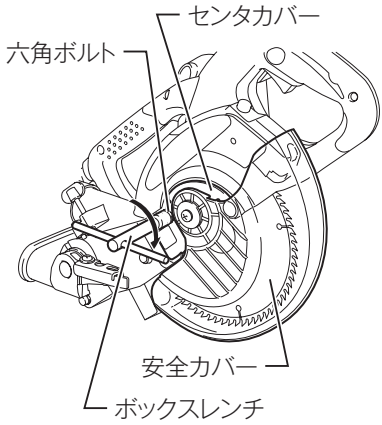
注

・ インナフランジは使用するノコ刃の内径に合わせて使用してください。インナフランジの“25.4”の刻印面は、内径 25.4 mm のノコ刃用、刻印面のない面は、内径 25 mm のノコ刃用です。

・ 六角ボルトにボックスレンチを挿し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを左方向に回して、六角ボルト（左ネジ）をしっかり締め付けてください。

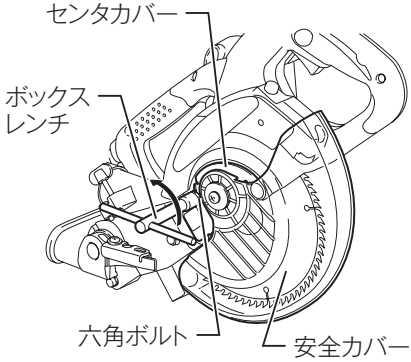


・ 安全カバーを元の状態に戻し、センタカバーを六角ボルトでしっかり固定してください。
・ ストッパピンを引いて、本製品の固定を解除してください。
・ ハンドル部を下げて、安全カバーが正常に作動することを確認してください。
・ 安全カバーはハンドルを下げると自動的に上がり、ハンドルを上げると元に戻ります。

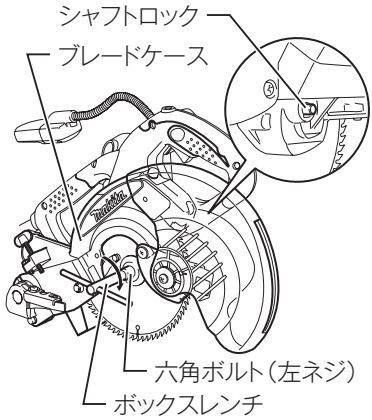


取りはずし方

・ 本製品が上がった位置で、ストッパピン（15 ページ参照）を押し込み、本製品が下がらないように固定してください。
・ センタカバーを固定している六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、安全カバーを持ち上げ、センタカバーを開いてください。

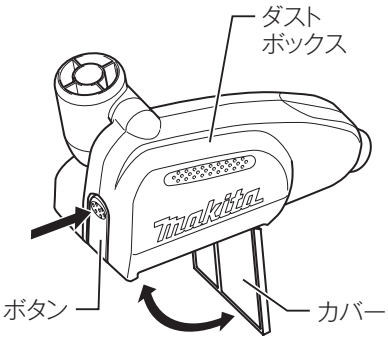


・ ノコ刃を締め付けている六角ボルトにボックスレンチを挿し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して六角ボルト（左ネジ）をゆるめ、六角ボルト、アウタフランジ、ノコ刃をはずしてください。



ダストボックス

- ダストボックスをブレードケースのダストノズルに挿し込んでください。
- ダストボックスは早めに掃除してください。
- 掃除するときはボタンを押すとカバーが開きますので中の切りくずを捨ててください。カバーを元の位置に戻すとカバーはロックされます。ダストボックスは、口元を回しながら引き抜くとはずしやすくなります。
- なおダストボックスの代わりに、当社集じん機を接続して使用できます。



注

- **ダストボックスの円筒部に切りくずがたまってきたら早めに掃除してください。**

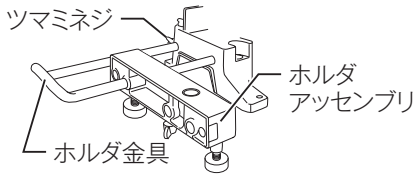
×

○

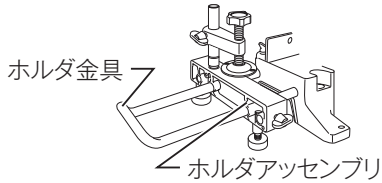
ホルダ金具、ホルダアッセンブリの取り付け

・ ホルダ金具、ホルダアッセンブリは材料を安定させるものです。
図のように取り付けてご使用ください。
・ 取り付け後は、ツマミネジでホルダ金具、ホルダアッセンブリを固定してください。
・ 長尺材の切断には、別販売品のホルダ金具組立品を使用していただきますと、材料をより安定した状態にできます。
ホルダ金具組立品の構成
ホルダアッセンブリ …… 2個
ロッド12 …… 2本

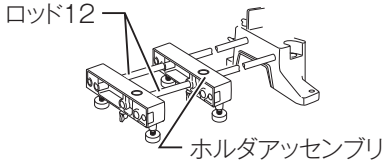
幅広材の場合



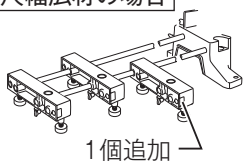
バイスアッセンブリ
（たて）を使用する場合



長尺材の場合

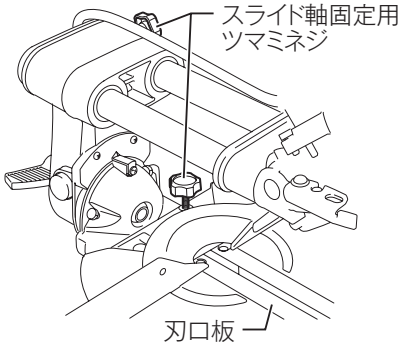


長尺幅広材の場合

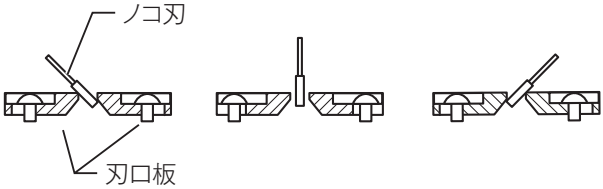


刃口板の調整

・ 工場出荷時は、ノコ刃と接触しない位置に刃口板が取り付けてあります。ご使用前にノコ刃と刃口板が一致するように、次の手順で調整してください。
・ 刃口板を固定している小ネジ（左右各２本）をゆるめ、刃口板が手で容易に動く程度に締めなおしてください。
・ ハンドルを下げ、本製品固定用のストッパピンを押して本製品を下限位置に固定し、２本のスライド軸固定用ツマミネジをゆるめてください。



・ 本製品を一番手前の位置にスライドさせて、刃口板がノコ刃の刃先側面に軽く触れる位置に動かして手前の小ネジを仮締めしてください。
・ 本製品をガイドフェンス側へスライドさせて、前記と同様に調整し、ガイドフェンス側の小ネジを仮締めします。
・ 左右の刃口板の仮締めが終わりましたら、ストッパピンを引いて本製品を上げ、刃口板固定用の小ネジをしっかり締めつけてください。



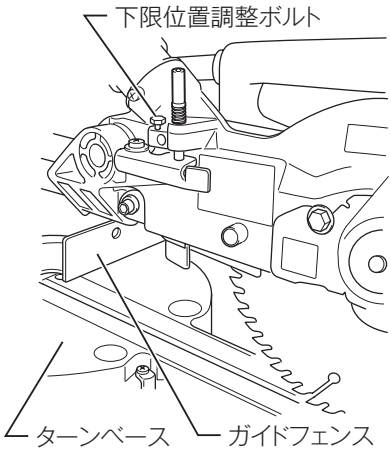
左傾斜切断　　直角切断　　右傾斜切断

注

・ ノコ刃の傾斜角度をかえるときは、その都度ノコ刃と刃口板が一致するように、刃口板を調整してください。

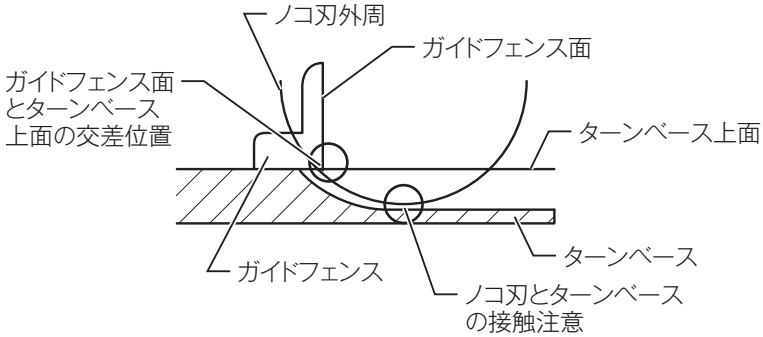
ノコ刃の下限位置決め調整

- 本製品は 216 mm のノコ刃を基準にしてノコ刃の下限位置を調整してあります。216 mm 以外のものを使用するときは、材料の切り残しが生じないように、下限位置を調整してください。
- 本製品をガイドフェンス側いっぱいまでスライドさせ、ハンドルをいっぱいに下げてください。
- 下限位置調整ボルトをボックスレンチで回して、ノコ刃の外周がガイドフェンス面とターンベース上面の交差する位置より下がった位置に調整してください。



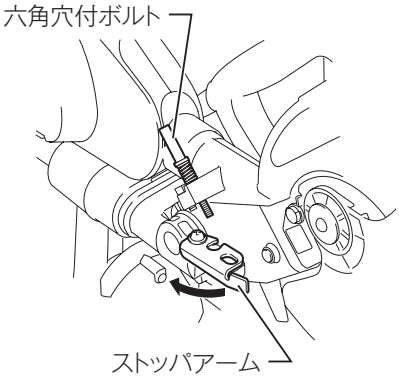
注

- ノコ刃を取り替えたときは、ノコ刃がターンベースにあたる恐れがありますので、ノコ刃の下限位置をご確認のうえご使用ください。



ストッパアームの使い方

・ ブレードケースの六角穴付ボルトを調整することによりノコ刃の下限位置を簡単に変えることができます。
・ 六角穴付ボルトの調整は、次の手順で行ってください。
  (1) ストッパアームを矢印の方向にスライドさせてください。
  (2) ノコ刃がご希望の下限位置で止まるように六角穴付ボルトを回して調整してください。
  (3) ハンドルを下げたとき、ノコ刃がご希望の下限位置で止まることを確認してください。



・ 表の材料を切断する場合は、ストッパアームを使うと材料に本製品が接触せずに切断できます。

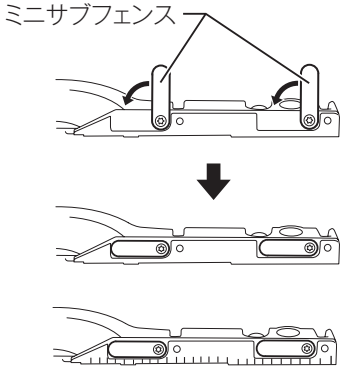
ノコ刃傾斜角度	切断材料厚さ
直角	65 mm ～ 75 mm
左 45 °	47 mm ～ 50 mm
右 45 °	20 mm ～ 30 mm

ミニサブフェンスの使い方

⚠ 警告

右傾斜切断時はミニサブフェンスを左に回してガイドフェンス内におさめてから作業してください。
・本製品及びノコ刃がミニサブフェンスにあたりけがの原因になります。

・ 本製品はガイドフェンスにミニサブフェンスが付いています。直角及び左傾斜切断時に材料の案内面が広くとれます。



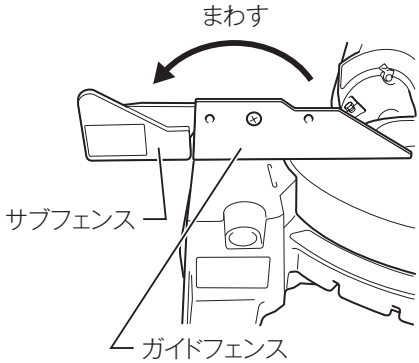
・ ガイドフェンスには 10 mm ごとに目盛が付いています。切り落とし寸法の目安になります。

サブフェンスの使い方

⚠ 警告

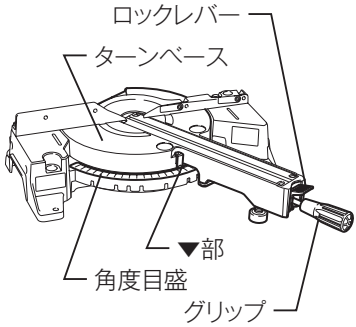
左傾斜切断時はサブフェンスを左に回して作業してください。
・ 本製品及びノコ刃がサブフェンスにあたりけがの原因になります。

・ 本製品はガイドフェンスにサブフェンスが付いています。直角及び右傾斜切断時に材料の案内面が広くとれます。



角度切断の切断角度設定

・ 本製品は、ターンベースが左 47 °、右 57 °まで回転します。
・ ターンベース固定用のグリップをゆるめ、ロックレバーを下げてターンベースを動かしてください。ターンベースの▼部を角度目盛に合わせ、グリップをしっかり締め付け、ターンベースを固定してください。

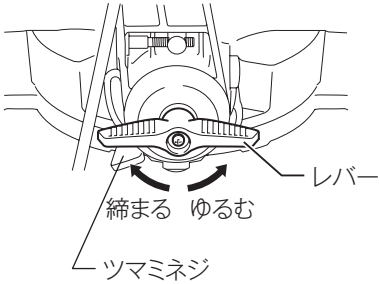


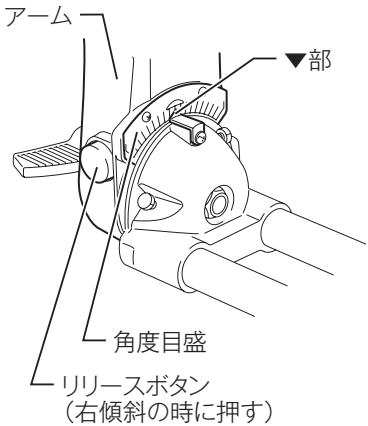
注

・ 切断角度を変えるときは、ハンドル部が上がった状態で行ってください。
・ 角度を変えた後は、ターンベースが動かないようにグリップで確実に固定してください。

傾斜切断の切断角度設定

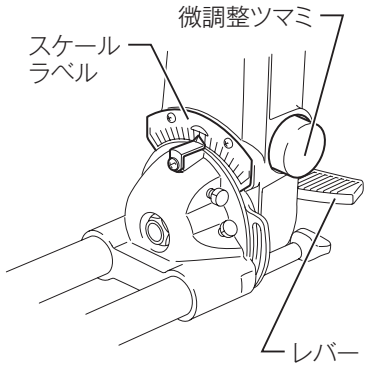
・ 本製品はノコ刃が左右 45 °まで傾斜します。本製品後部にあるレバーをゆるめてください。この時、ツマミネジがゆるんでいることを確認してください。
レバーのみをゆるめても傾斜角度の設定はできません。
・ 左傾斜の場合は、本体を左方向に傾斜させ、▼部をアームの角度目盛に合わせ、レバーをしっかり締め付け、アームを固定してください。
・ 右傾斜の場合は、レバーをゆるめた後に、少し左方向に傾斜させアーム側面のリリースボタンを押してください。そして、リリースボタンを押したまま右方向に傾斜させてください。

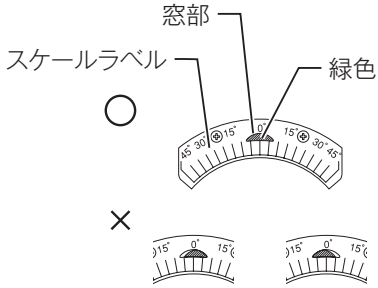




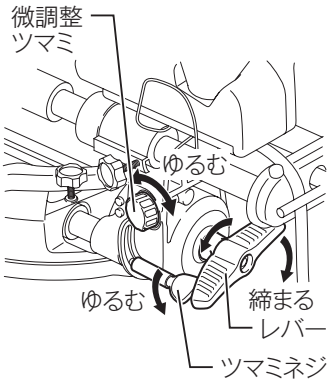
傾斜角度微調整範囲の設定

・ スケールラベルの窓部がすべて緑色になっているか確認してください。緑色になっていないと傾斜角度微調整の調整範囲が狭くなります。レバーをゆるめ、微調整ツマミをまわしスケールラベルの窓部がすべて緑色になるようにします。

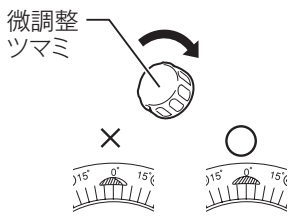


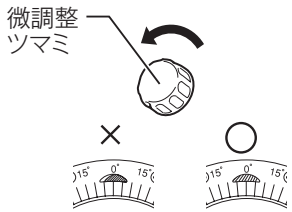


1. 直角（0 °）の位置でレバーをゆるめます（このときツマミネジはゆるんでいることを確認してください）。



2. 微調整ツマミで傾斜角度微調整の調整範囲を設定します。
   2-1 スケールラベル窓部の緑色部分が左に寄っている場合
   微調整ツマミを右にまわすと緑色部分が右に移動します。窓部が緑色になるまで右にまわします。
   2-2 スケールラベル窓部の緑色部分が右に寄っている場合
   微調整ツマミを左にまわすと緑色部分が左に移動します。窓部が緑色になるまで左にまわします。

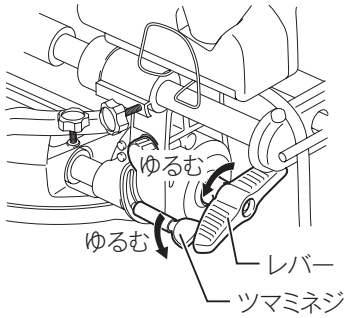




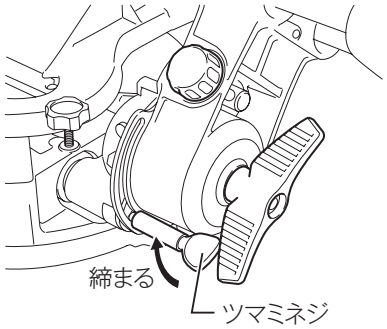
3. 調整し終わりましたらレバーを締めます。

左傾斜角度の微調整

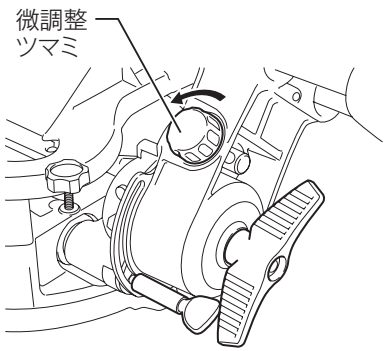
1. レバーをゆるめます（このとき、ツマミネジがゆるんでいることを確認してください）。

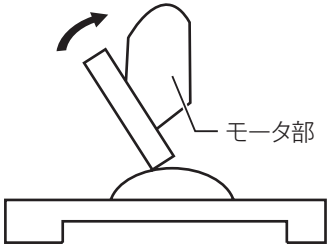


2. 左傾斜側の任意の角度に目盛を合わせ、ツマミネジを締めます。

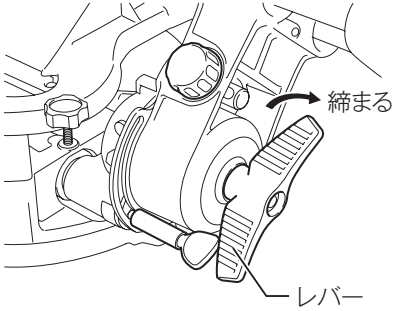


3. 微調整ツマミを左にまわし、モータ部をおこす方向に微調整をします。





4. 微調整が終わりましたらレバーを締めます。



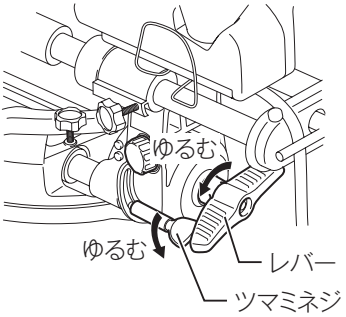
例：左傾斜角度を 30 °に設定する場合

1. レバーをゆるめます。
2. 30 °より 1 ～ 2 °大きな角度に目盛をあわせ、ツマミネジを締めます。
3. 微調整ツマミを左にまわし、30 °に目盛を合わせます。
4. レバーを締めます。

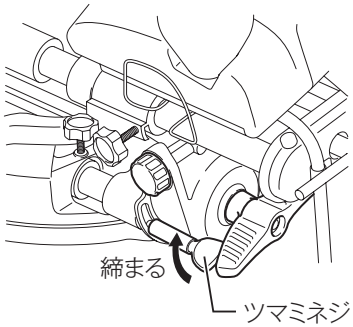
右傾斜角度の微調整

(右傾斜のしかたは 25 ページ参照)

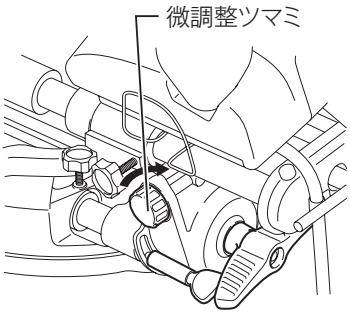
1. レバーをゆるめます（このとき、ツマミネジがゆるんでいることを確認してください)。

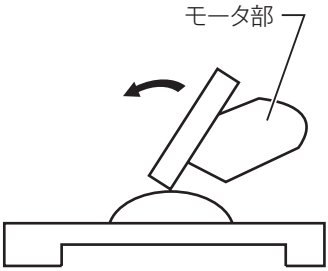


2. 右傾斜側の任意の角度に目盛を合わせ、ツマミネジを締めます。

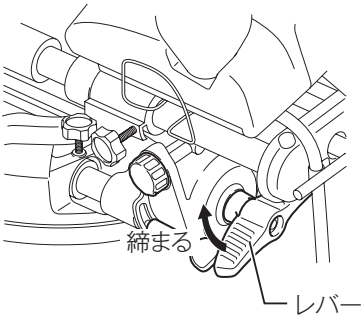


3. 微調整ツマミを右にまわし、モータ部をおこす方向に微調整をします。





4. 微調整が終わりましたらレバーを締めます。



例：右傾斜角度を 30 °に設定する場合
1. レバーをゆるめます。
2. 30 °より 1 ～ 2 °大きな角度に目盛を合わせ、ツマミネジを締めます。
3. 微調整ツマミを右にまわし、30 °に目盛を合わせます。
4. レバーを締めます。

注

- 微調整をしない場合はツマミネジを 1 ～ 2 回転ゆるめた状態にしてください。レバーのみをゆるめても傾斜角度の設定はできません。
- ノコ刃を傾斜するときは、ハンドル部が上がった状態で行ってください。
- 角度を変えた後は、アームが動かないようにレバーで確実に固定してください。

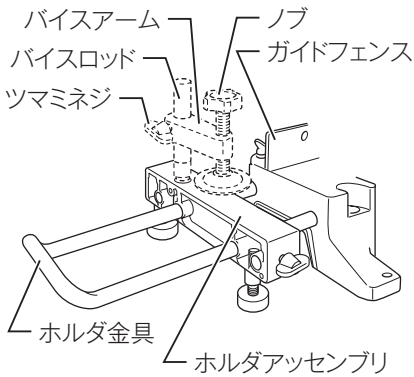
材料の固定

⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。
・ 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

1. バイスアッセンブリ（たて）の使い方

・ バイスは、ガイドフェンスの左右各2か所とホルダアッセンブリに取り付けられます。
バイスロッドは、ガイドフェンスまたはホルダアッセンブリのツマミネジで固定します。
・ ホルダアッセンブリに取り付けるときは、ホルダアッセンブリを図のようにホルダ金具に取り付けてください。
・ 材料の厚さなどに合わせてバイスアームの位置を決め、ツマミネジでバイスアームを固定してください。



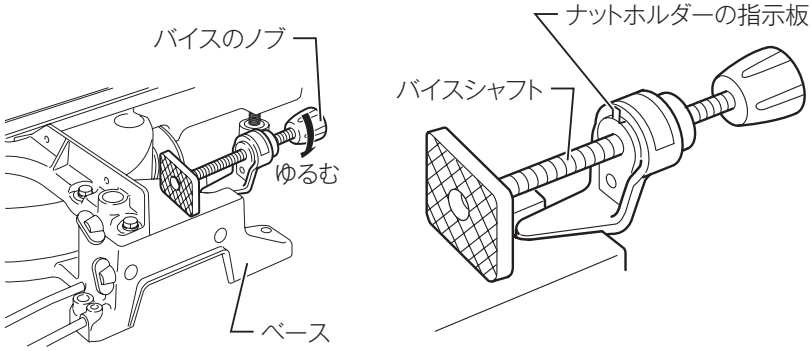
・ ハンドルを下げたときまたスライドさせたときにバイスが本製品のどこにも接触しないことを確認してください。もしバイスが本製品の一部に接触するときは、バイスロッドおよびバイスアームの位置をかえてください。
・ 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合わせ、ノブを右に回して材料を固定してください。
・ たてバイスで固定できる最大材料厚さは、75 mm です。

2. バイスアッセンブリ（よこ）（別販売品）の使い方

⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。
・ 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

・ バイスはベースの左側に取り付けることができます。
・ バイスのノブを左方向に回すとバイスがゆるみ、バイスシャフトを前後に移動させることができます。材料を固定するときは、ノブを右方向に回してナットホルダーの指示板を上端に位置させて、材料を確実に固定してください。



・ ノブを強く押して右に回すと指示板が斜めに途中で止まることがあります。そのときは一度左へ回してから、再度軽く右に回してください。
・ バイスアッセンブリ（よこ）で固定できる最大材料幅は、120 mm です。

使い方

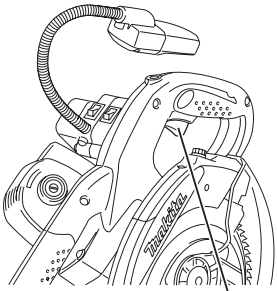
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを挿し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

・ スイッチはスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。



ライトの使い方

⚠ 警告

本製品は防水構造ではありません。水洗いしたり、雨中や湿気の多い所で使用しないでください。

・ 感電や発煙のおそれがあります。

⚠注意

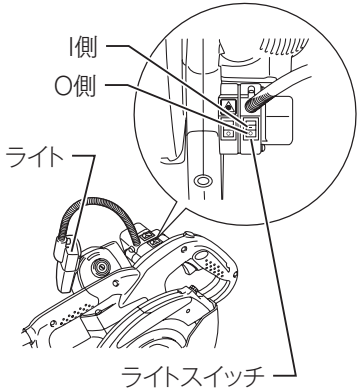
ライト点灯時、および消灯直後はライトレンズ部が高温になっているため、触れないでください。
・ やけどの原因になります。

ライトに強い衝撃を加えないでください。
・ ライトの損傷や寿命低下の原因になります。

目に光を当て続けないでください。
・ 目をいためる原因となります。

点灯したまま、布やダンボールなどをかぶせないでください。
・ 発火の恐れがあります。

・ ライトのスイッチは I 側を押すと点灯し、O 側を押すと消灯します。
・ 照明位置を変えるにはライトを動かしてください。

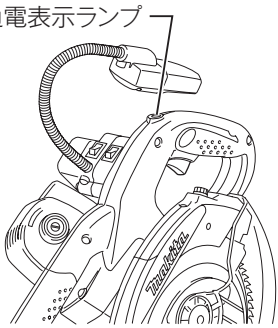


注

・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。

通電表示ランプ

・ 電源プラグを電源コンセントにつなぐと通電表示ランプ（緑色）が点灯します。



・ 次のような症状がでた場合には、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

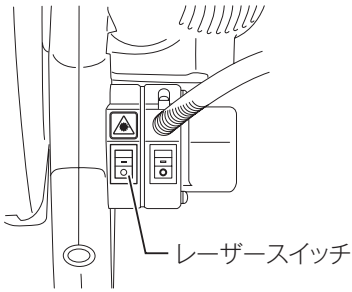
	症状	原因
①	・ 電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯せず、スイッチを入れても作動しない。	・ 電源コードの故障です。
②	・ 通電表示ランプ（緑色）は点灯しているがスイッチを入れても作動しない。	・ カーボンブラシの寿命、モータあるいはスイッチの故障です。
③	・ 電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯せず、スイッチを入れると作動する。	・ 通電表示ランプの故障です。

レーザーの使い方（LS0814FL のみ）

⚠ 注意

レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。
・ レーザー光が目に直接当たると、目を傷める原因になります。

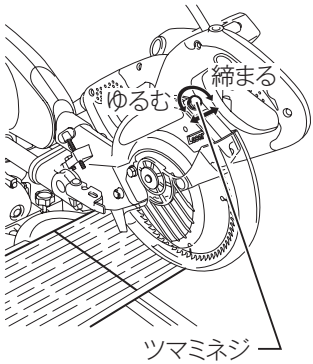
・ レーザーのスイッチは I 側を押すと点灯し、O 側を押すと消灯します。



・ ツマミネジを下記手順で操作することによって、レーザーラインをノコ刃の左側、または右側に移動させることができます。

1. ツマミネジをゆるめます。
2. その状態でツマミネジを右または左に止まるまでスライドさせます。
3. 止まった位置でツマミネジをしっかり締め付けます。

・ レーザーラインの位置は、ノコ刃側面（切断位置）から 1 mm 以内になるように、出荷時に調整してあります。



注

・ **屋外や屋内の窓際作業で、太陽光によりレーザーラインが薄く見えにくい場合は、太陽光が直接当たらない場所で作業してください。**

レーザーラインの合わせ方（LS0814FL のみ）

・ 切断用途によりレーザーラインはノコ刃の左側、または右側の墨線に合わせることができます（レーザーラインの移動方法については「レーザーの使い方」の項目を参照してください）。

注

・ **複合切断（ノコ刃傾斜左 45 °、ターンベース角度を右 45 °方向にした場合）においてガイドフェンス側でレーザーで墨線合わせをする場合は当て木をしてください。**

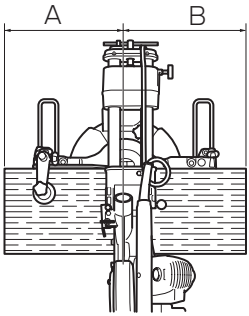
A（材料の左側）の長さが必要な場合

・ ノコ刃の左側にレーザーラインを移動させます。

B（材料の右側）の長さが必要な場合

・ ノコ刃の右側にレーザーラインを移動させます。

・ レーザーラインに墨線を合わせます。
（切断方法については「切断方法」の項目を参照してください）。



切断方法

⚠ 注意

無理にハンドルを押さえつけたり、左右に強い力を加えないでください。

・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

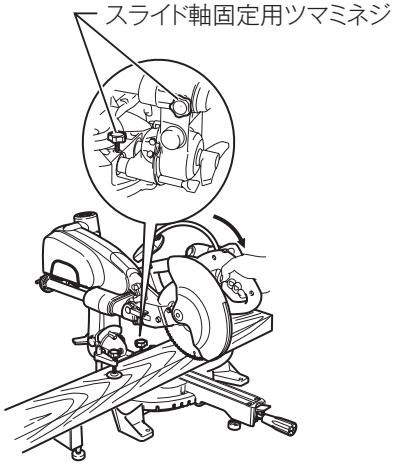
1. 押し切り切断（小物材の切断）

⚠ 注意

スライド軸固定用のツマミネジをしっかり締めつけてください。

・ 本製品の固定が不十分な場合は、本製品に反発力を生じけがの原因になります。

・ 本製品は高さ 65 mm × 幅 105 mm までの材料が切断できます。
・ 本製品をガイドフェンス側いっぱいまでスライドさせて２本のスライド軸固定用ツマミネジで本製品を固定してください。
・ 切断角度を設定した後、材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ材料の切断位置を合わせてバイスで確実に固定してください。
・ ハンドルを握りノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れてください。ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押さえ、静かに下限位置まで下げて切断してください。
・ 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。



2. スライド切断（幅広材の切断）

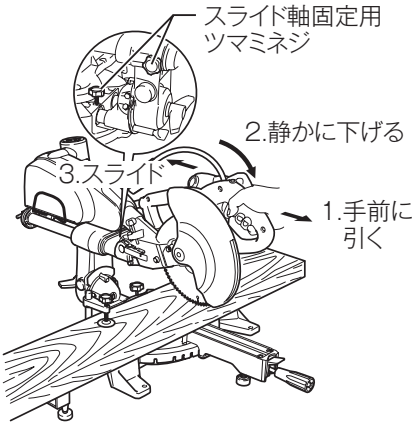
⚠ 警告

ノコ刃回転中に、スライド軸固定用のツマミネジを操作しないでください。
・ けがの原因になります。

⚠ 注意

必ず本製品を手前側いっぱいまで戻した状態で切断してください。
・ 本製品を手前側いっぱいまで戻さずに押し切りしたり、手前に引きながらスライド切断しますと本製品に反発力を生じけがの原因になります。

・ 本製品は下記の材料が切断できます。
高さ 65 mm ×幅 312 mm または、
高さ 75 mm ×幅 262 mm
（当て木 25 mm）。
・ 2 本のスライド軸固定用ツマミネジをゆるめて本製品のスライド固定を解除してください。
・ 切断角度を設定した後、材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合わせてバイスで確実に固定してください。
・ ハンドルを握り、本製品を手前側いっぱいまで引き戻してください。
・ 本製品を手前側いっぱいまで戻した状態で、ハンドルを握りスイッチを入れてください。



・ ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押さえ、静かに下限位置まで下げ、その状態を保ちながらガイドフェンス側へ本製品をスライドさせて切断してください。
・ 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。

注

- スライド切断中は、スライドを途中で止めないでください。スライドを途中で止めると、切断面にノコ刃の傷が深く付いたり、切断精度が悪くなります。
- ストッパピンを押し込み本製品を下側に固定した状態で、スライド切断しないでください。

3. 角度切断（ターンベース回転）
- 24 ページ「角度切断の切断角度設定」の項を参照してください。

4. 傾斜切断

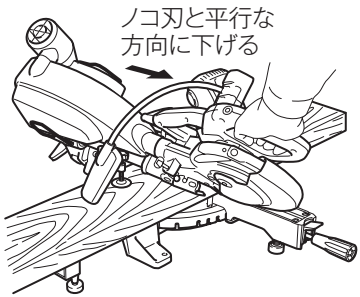
⚠ 警告

必ずノコ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。
- 切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散しけがの原因になります。

- 下記の材料が切断できます。

左 45 °傾斜時	高さ 47 mm ×幅 312 mm
右 45 °傾斜時	高さ 20 mm ×幅 312 mm

- アーム固定用のレバーをゆるめ傾斜角度を設定してください。25 ページ「傾斜切断の切断角度設定」の項を参照してください。
- 「押し切り切断」「スライド切断」と同様に材料を固定し、スイッチを入れてください。
- ハンドルをノコ刃と平行な方向（ノコ刃の傾斜した方向）へ軽く押さえ、静かに下限位置まで下げ、その状態のままガイドフェンス側へスライドさせて切断してください。



- 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。

注

- ハンドルを操作するときは、ノコ刃と平行な方向に力を加えてください。ターンベースと垂直な方向に力を加えたり、切断途中で力の加わる方向が変わると切断精度が悪くなります。

5. 複合切断（角度切断＋傾斜切断）

・ ターンベースによる角度設定とノコ刃による傾斜角度設定を組合わせることによって表に示す範囲の複合切断ができます。

角度切断	傾斜切断
左右 45 °の時	左右 45 °まで
右 50 °の時	左 40 °右 45 °まで
右 57 °の時	左 25 °右 45 °まで

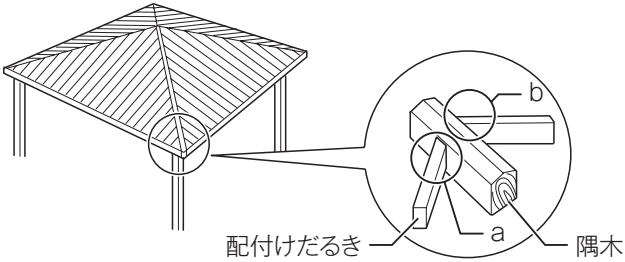
・ 下記の材料が切断できます。

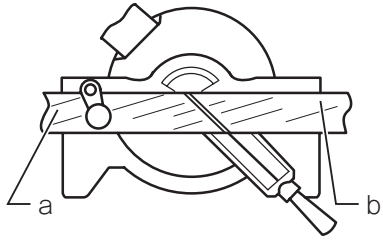
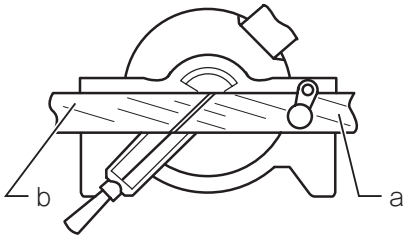
ターンベース角度左右 45 °	左 45 °傾斜時	高さ 47 mm ×幅 220 mm
	右 45 °傾斜時	高さ 20 mm ×幅 220 mm

・ 角度切断（押し切り切断、スライド切断）および傾斜切断の項を参照してお使いください。

6. 配付けだるき加工

・ 複合切断により、65 mm 角材までの配付けだるきの加工ができます。
・ 配付けだるきの隅木胴付部は、図に示す a 部と b 部があります。
ターンベース回転方向およびノコ刃の傾斜方向により、下記のように a 部と b 部になります。



	ノコ刃左傾斜
ターンベース右方向	
ターンベース左方向	

・ 屋根勾配に合った切断角度（ターンベースの角度・ノコ刃の傾斜角度）を右の表より設定してください。

配付けだるき加工表

屋根勾配	2 寸	2寸5分	3 寸	3寸5分	4 寸	4寸5分	5 寸	5寸5分
ターンベースの角度	45.6 °	45.9 °	46.2 °	46.7 °	47.1 °	47.6 °	48.2 °	48.8 °
ノコ刃の傾斜角度	8 °	10 °	11.5 °	13.5 °	15 °	17 °	18.5 °	20 °

・ 屋根勾配 3 寸 5 分をこえる場合は、ターンベース右方向で作業してください。
・「押し切り切断」と同様に本製品のスライドおよび材料を固定して切断してください。

7. アルミサッシの切断

⚠ 注意

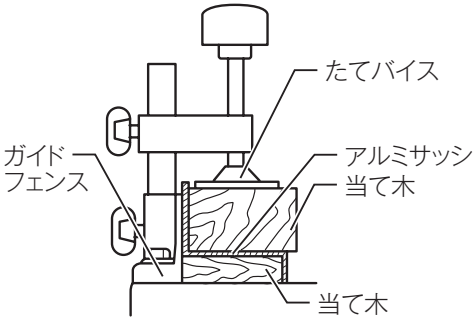
当て木や治具を使用しても確実に固定できないものは、切断しないでください。

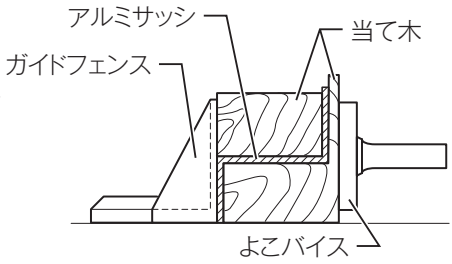
・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

丸棒など断面が中空でないもの、肉厚が大きいものは、切断しないでください。

・ 本製品に反発力を生じ、けがの原因になります。

・ アルミサッシなどバイスで直接締め付けると容易に変形する材料は、材料の形状に合わせた当て木や治具を使用して、材料が変形しないようにしてから切断してください。
・ アルミサッシの切断に際しては、材料に軽油など切削油を塗布してください。



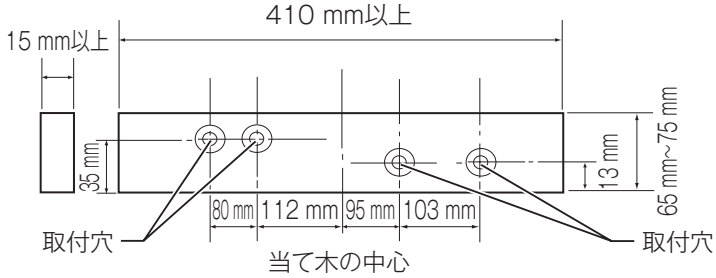


8. 当て木を利用しての切断

・ 高さが 65 mm ～ 75 mm の材料を切断されるときは、ガイドフェンス側に切り残しがでないようにするため当て木を利用してください。
・ 当て木は、厚さが均一でそりのない材料を使用しガイドフェンスの取付穴を利用して 5 mm のネジで取り付けてください。

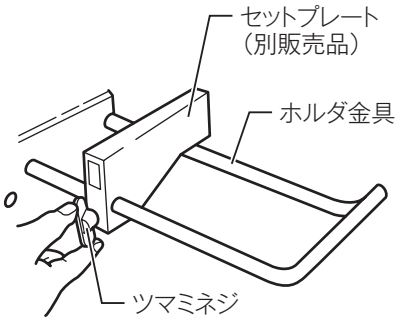
高さ 75 mm の材料を切断するときの当て木厚さ

ターンベース角度	当て木厚さ
0 °	25 mm 以上
左右 45 °	20 mm 以上
右 57 °	15 mm 以上



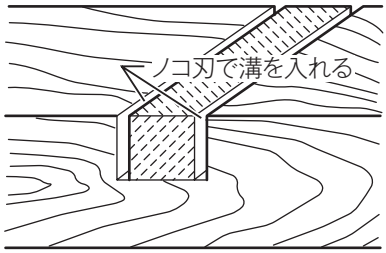
9. 定寸切断

・ 材料を 220 mm ～ 385 mm の長さで繰り返し定寸切断されるときは、ホルダ金具にセットプレート（別販売品）を取り付け、ご希望の切断寸法にセットプレートを合わせてツマミネジで固定してください。
・ 材料を定寸切断しないときは、ツマミネジをゆるめてセットプレートを手前へ倒してください。
・ ホルダ金具組立品（別販売品）を使用すれば 220 mm ～ 2,230 mm の定寸切断が可能です。



溝を入れる加工

・ ノコ刃の下限位置をブレードケースのツマミネジで調整することにより、図に示すような溝加工ができます（23 ページ「ストッパアームの使い方」の項を参照してください）。
・ スライド切断で溝を加工したのち、斜線部は、のみなどで取り除いてください。

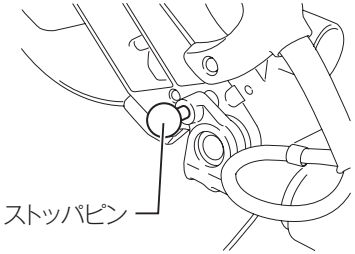


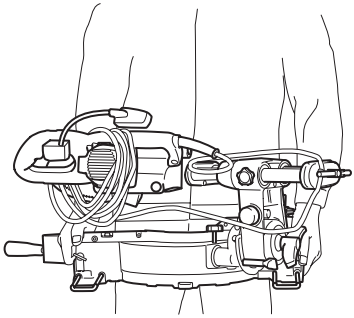
注

・ 溝加工の際、加える力の大きさにより溝深さが変わることがあります。

本製品の持ち運び

・ ノコ刃傾斜角度は０°、ターンベース角度は右 57°、スライドは手前側いっぱいまで戻した位置でそれぞれスライド軸固定用ツマミネジを締めて固定してください。
・ ハンドルを下限位置まで下げて、アーム部のストッパピンを押し込み、本製品が上がらないように固定してください。
ベースなどをしっかり持って運んでください。
・ 本製品のベースの両側を抱えるようにして、持ち運んでください。ホルダ、ダストボックス、バイスなどを取りはずしますと、バランス良い無理のない状態で持ち運びができます。





保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

レーザーラインの位置調整（LS0814FL のみ）

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを挿し込むと急に動きだし事故の原因になります。

レーザーラインの位置調整は、電源プラグを電源コンセントに挿し込んで作業するため、スイッチの操作には十分注意してください。

・ 不意にスイッチレバーを引くとノコ刃が回転し、思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

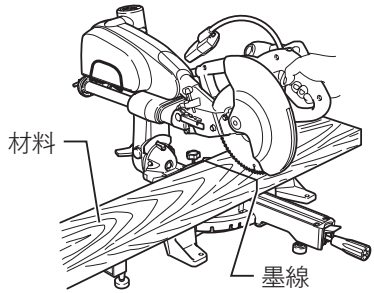
レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。

・ レーザーの光が目に直接当たると、目を傷める原因になります。

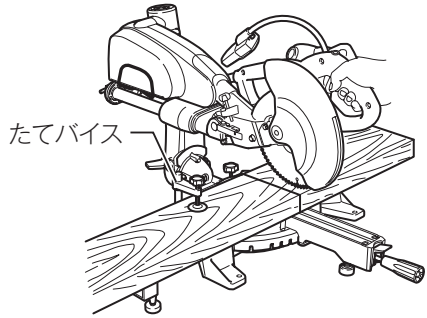
本製品に強い衝撃を加えないでください。

・ レーザーラインの位置が狂ったり、レーザー発光部の損傷や寿命低下の原因になります。

1. 電源コードが電源につながっていないことを確認してください。
2. 材料を用意し、本製品に乗せます。このとき、たてバイスなどで固定はしないでください。
3. モータ部を下ろし墨線と刃物の位置を確認します（お好みの墨線に対する切断位置を決めてください）。

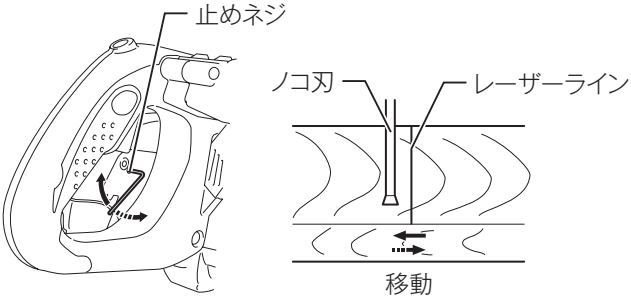


4. 切断位置が決定したら、モータ部を元に戻し、材料が先程合わせた位置から動かないように付属のたてバイスで固定します。
5. 電源を入れ、レーザーのスイッチを ON にします。
6. レーザーラインの位置調整を以下のように行います。

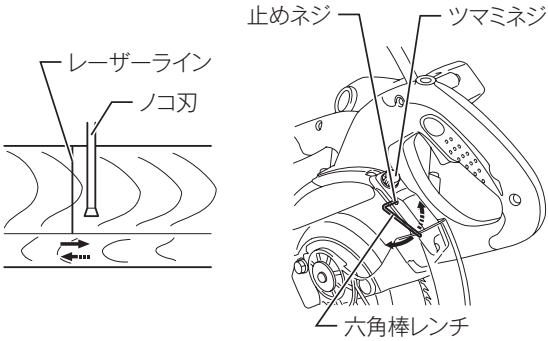


・ 2 か所の止めネジを付属の六角棒レンチでまわすことにより、ツマミネジのスライド範囲が変わるため、レーザーラインとノコ刃側面の距離が調整できます（出荷時はノコ刃側面から 1 mm 以内に調整してあります）。
・ ツマミネジをゆるめた後、それぞれ 2 か所の止めネジを左にまわすとレーザーラインはノコ刃側面から遠ざかる方向に設定でき、右にまわすとノコ刃側面に近づく方向に設定できます。
・ 36 ページの「レーザーの使い方」を参照してツマミネジを操作し、レーザーラインが墨線に合うように止めネジの位置を調整してください。

・ノコ刃の右側のレーザーラインを調整する場合



・ノコ刃の左側のレーザーラインを調整する場合



注

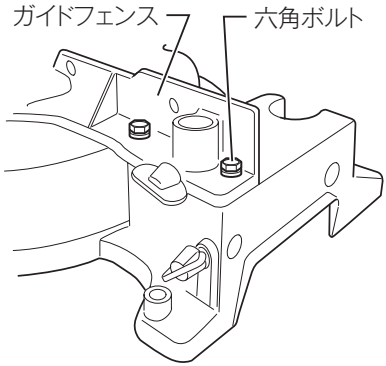
・ 定期的にレーザーラインの位置が狂っていないことを確認してください。
・ 不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

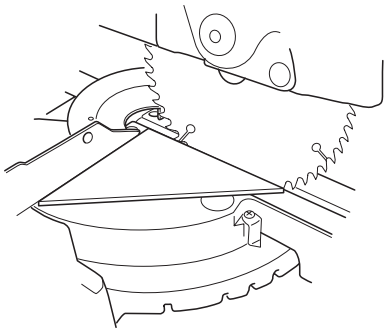
切断角度の調整

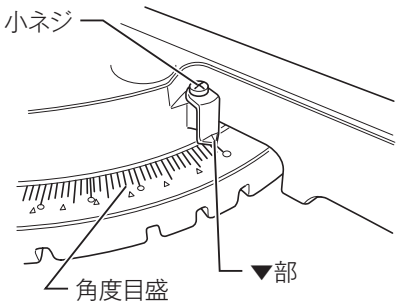
・ 切断角度は出荷時に調整してありますが、万一輸送中やご使用中に狂いが生じた場合は、次の手順で調整してください。

（1）角度切断時の角度調整

・ 本製品をガイドフェンス側へスライドさせ、２本のスライド軸固定用ツマミネジでスライド軸を固定してください。
・ ターンベース固定用のグリップをゆるめてください。
・ ターンベースの▼部とベースの角度目盛０°を合わせ、ターンベースを左右に少し動かしてターンベースの位置を安定させてください。
（▼部と０°が一致しない場合がありますが、そのままにしておいてください）。
・ ガイドフェンスを固定している３本の六角ボルトをボックスレンチなどでゆるめてください。
・ ハンドルを下げて、アーム部のストッパピンで固定してください。
・ ノコ刃側面とガイドフェンス面にカネ尺または三角定規をあて、ノコ刃とガイドフェンスが直角になるようにガイドフェンスを調整します。
・ ガイドフェンスが動かないように注意しながら、六角ボルトを静かに右端から順番に締め付けてください。
・ ターンベースの▼部と角度目盛の０°が一致しているか確認してください。
▼部と角度目盛の０°が一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の０°に合わせてください。

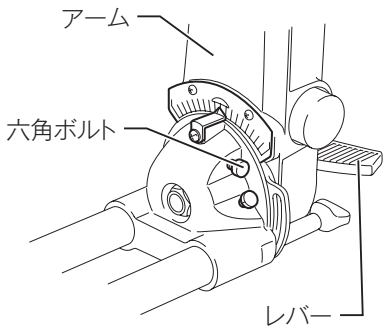




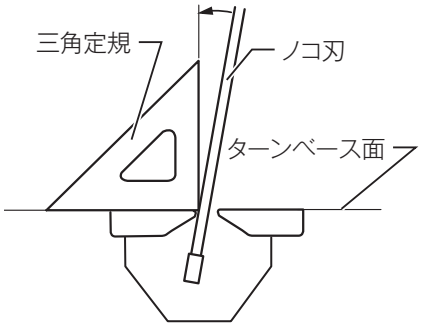


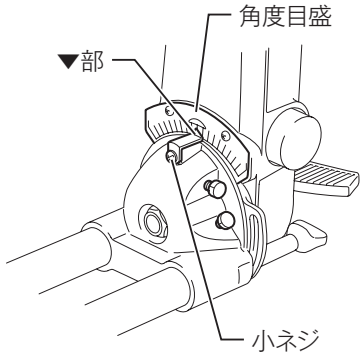
(2) 傾斜切断時の角度調整（直角位置）

・ 本製品をガイドフェンス側へスライドさせ、２本のスライド軸固定用ツマミネジでスライド軸を固定し、ハンドルを下げてフロントアーム部のストッパピンで固定してください。
・ アーム後部のレバーをゆるめてください。
・ アームホルダの六角ボルトをボックスレンチで左に２～３回転させ、本製品を右方向に傾けてください。
・ ターンベース面とノコ刃の側面に三角定規をあて、アームホルダの六角ボルトを右に回してターンベースとノコ刃が直角になるように調整してください。
・ 調整が終わりましたら、レバーをしっかり締め付け本製品を固定してください。
・ アームホルダの▼部とアームの角度目盛の０°が一致しているか確認してください。▼部と角度目盛の０°が一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の０°に合わせてください。



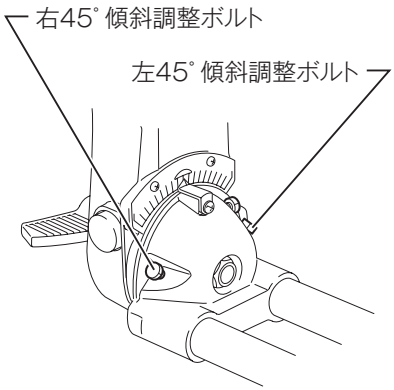
六角ボルトを回し、直角にする

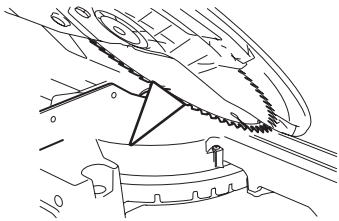




(3) 傾斜切断時の角度調整（左右 45 °位置）

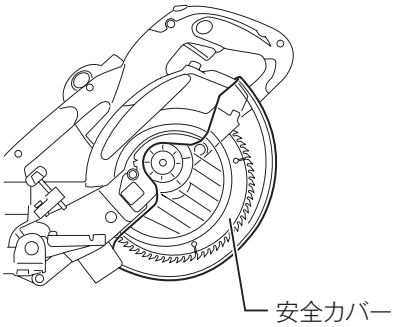
・ ターンベースとノコ刃とが直角になったときに、▼部がアームの角度目盛の０°に合っているか確認してください（前項「傾斜切断時の角度調整（直角位置）」の項を参照してください）。
・ レバーをゆるめて本製品を左 45 °に傾斜させてください。
・ アームホルダ側面の六角ボルトをボックスレンチで左へ２～３回転させて本製品を左へ傾けてください。
・ ターンベースとノコ刃の側面に定規をあて、アームホルダ側面の六角ボルトを右へ回してターンベースとノコ刃が 45 °になるように調整してください。
・ 同じように右 45 °傾斜位置も調整してください。





安全カバーの動作点検と整備

・ 安全カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、切り終わってハンドルを上げると、元に戻ります。
この安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。けがなどの事故を防ぐため正常な状態で使用してください。動作が異常なときは速やかに修理に出してください。
安全カバーに切り粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切り粉などを拭きとってください。



蛍光管の交換

⚠ 警告

蛍光管の交換の際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

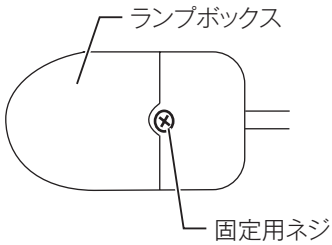
蛍光管に衝撃を与えたり、キズを付けないでください。

・ ガラスが割れてケガの原因となります。

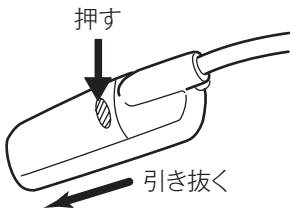
使用直後は蛍光管が熱くなっておりますのでしばらく放置してから交換してください。

・ やけどの原因になります。

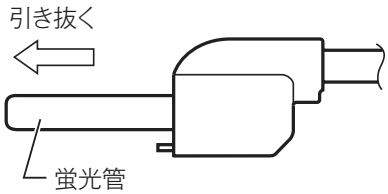
・ ライトのランプボックス固定用のネジを外します。



・ ランプボックス上部を軽く押しながら図のように引き抜きます。

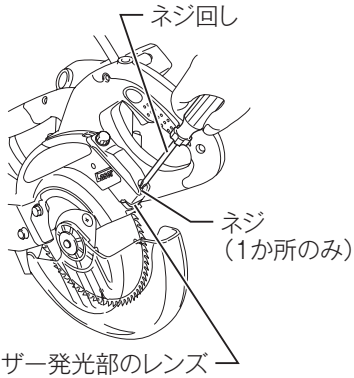


・ 蛍光管を引き抜き、指定の蛍光管に取り替えてください。



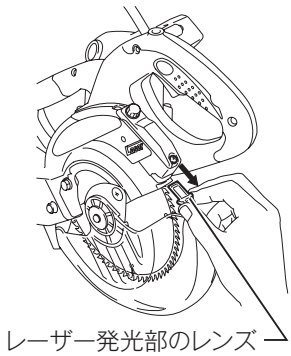
レーザー発光部の清掃（LS0814FL のみ）

・ レーザー発光部のレンズに、切りくずなどが付いてレーザーラインが見えにくくなった場合は、レーザー発光部のレンズを取りはずし、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませて軽く拭きとってください。



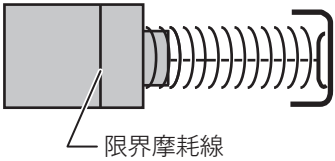
レーザー発光部のレンズの取りはずし方（LS0814FL のみ）

・ ノコ刃取りはずしの要領で、ノコ刃を取りはずします。
・ ⊕のネジ回しでネジを（1 か所のみ）ゆるめます。
・ レーザー発光部のレンズを引き抜きます（抜けない場合はさらにネジをゆるめてから、引き抜いてください。ネジは完全にはずさないでください）。

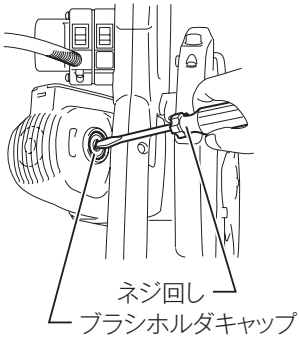


カーボンブラシの交換

・ カーボンブラシは定期的に、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



注

・ **新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。**

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

882230F3
IWT